

救急ニュース！



瀬戸内消防分署からお知らせです。

救急関連の情報などを掲載していますので、ぜひご確認ください。

アルコールの多量摂取について

アルコールの多量摂取は、脳を麻痺させる可能性があります。脳の中心である脳幹まで麻痺すると、呼吸が抑制され心臓の動きが悪くなり死に至る場合があります。特にお酒に自信があると思っている若い年齢の方は注意が必要です。

倒れている人を見かけたら…

- ① 呼びかけて意識と反応の確認
- ② 119番通報し救急要請
- ③ 普段と同じ呼吸の場合は横向きに
- ④ 低体温に注意し保温
- ⑤ 意識が無く普段と同じ呼吸では無い場合すぐに心肺蘇生法を行う

(表) 酩酊度と血中アルコール濃度、症状

酩酊度	血中アルコール濃度 (mg/mL)	症状
爽快期	0.3～0.5	通常無症状
弱度酩酊	0.5～1.0	ほろ酔い気分、抑制がとれる
軽度酩酊	1.0～1.5	抑制がとれ陽気・多弁、運動機能障害
中等度酩酊	1.5～2.5	言語不明瞭・判断力低下、千鳥足
強度酩酊	2.5～3.5	意識混濁、悪心・嘔吐、歩行不能
泥酔期	3.5～4.5	意識消失し、昏睡状態、呼吸抑制
昏睡期	4.5～	呼吸麻痺あるいは心機能不全で死亡

対処法

万一の時に知っておきたい！
急性アルコール中毒になった人への正しい対処法

- 衣服をゆるめて楽な状態にする
- 一人にしないで誰かが必ず付き添う
- 呼吸をしているか、脈があるかを時々確認
- 気道を確保するため顔や体を横に向けて寝かせる(回復体位)
- 上衣や毛布などをかけて体を温める
- 水やお茶スポーツドリンクなどを飲ませる



反応がない場合は救急車を呼ぶ！

注意点

急性アルコール中毒を防ぐための
5つのポイント

- ① お酒を飲むときには自分の適量、その日の体調を把握する
- ② 「イッキ飲み」はせず、無理強いもしない・させない
- ③ 酒が飲めない体質の人は事前に周囲の人へ伝えておく
- ④ 空腹のままお酒は飲まない、飲むときは食べ物と一緒に
- ⑤ アルコール度数が高いお酒は水や炭酸水などと併せて飲む

救急講習会について

瀬戸内消防分署では、救急講習会で命を救う知識、技術を教えています。

広報誌をご覧になられて、興味がありましたら、是非お問い合わせください。



東京消防庁では毎年1万人以上の方が、急性アルコール中毒により救急搬送されています。命は一つしかありません。楽しいお酒になるよう節度ある行動をしましょう。



大島地区消防組合

瀬戸内消防分署

救急係

☎0997-72-1190 FAX0997-72-1192

📍894-1508

瀬戸内町古仁屋芦瀬原1283番地175号

救急車の全国平均到着時間について

救急要請をされた方々は、早く来て欲しいと願うあまり、時間が長く感じるのだと思います。救急車の全国平均到着時間は10分となっております。

私たちは、1分以内で出場態勢を整え、救急車に乗車し出場しております。待つ間は長く感じると思いますが、皆様のご理解と、場所の誘導のご協力をよろしくお願いいたします。